

平成 21 年度
第 2 回 長岡市図書館協議会

日 時 : 平成 22 年 2 月 12 日 (木) 午後 2 時から午後 4 時まで
場 所 : 中央図書館 2 階 講座室 1

会議出席者 委 員 : 渡邊委員長 湊本副委員長 恩田委員 桐生委員 熊倉委員
古塩委員 清田委員 田邊委員 松本委員
(欠席: 谷委員)

事務局 : 小野田館長 小倉補佐 廣田総括副主幹 高橋庶務係長 松矢奉仕係長
金垣文書資料室長 指定管理者荒井業務統括責任者 同高橋業務責任者

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議 事

(1) 報告事項

平成 21 年度の事業実施状況について

- ・ 取次所 (6 地域) の設置について
- ・ 貸出延長の電話受付開始について
- ・ 外部データベース (日経テレコン 21) の導入について
- ・ 第 8 回全国藩校サミット in 長岡の開催について
- ・ 中越大震災 5 周年復興祈念事業 (震災アーカイブス展他) について
- ・ 施設修繕について

(2) 協議事項

- ① 平成 22 年度の運営方針 (案) について
- ② 平成 22 年度の主な事業計画 (案) について
 - ・ 川口地域へのサービス開始について
 - ・ 今森光彦写真展 (仮称) 「昆虫 4 億年の旅」について
 - ・ 図書館まつり (仮称) について
 - ・ 絵本のひろば (仮称) について
 - ・ 山古志地域の資料整理作業について
- ③ 平成 21 年度長岡市立図書館の活動評価について

(3) その他

- ① 長岡図書館友の会の活動状況について
- ② 運営全般について

- 4 閉 会

5 会議録要旨

○国民読書年とはどのようなものか。4年に1回というようなものか、それとも平成22年にだけのものか。

⇒国が定めたもので、平成22年のみである。

○閉架書庫には図書資料と県指定・市指定の文化財があるが、書庫見学の対象は図書資料と考えてよいか。文化財の公開は違った形が望ましいと考えるがいかがか。

⇒指摘のとおりである。堀口大学コレクションをはじめとした特色資料を置いており、これらを含めた図書資料の公開を予定している。文化財を含めた貴重資料の公開は慎重に行いたい。

○図書館として平成22年度に最も力を入れる事業は何か。国民読書年に関係したことではないと思うが、どのような形で市民へのアピールを考えているか。どこに焦点を当てるか、いろいろな層の拡大、図書館に近い存在にしていくためのイベントも必要か。

⇒アイデアを出し合い、多くの市民から参加していただけるものを考えたい。

○図書館活動評価は、数値目標等項目を細かくすると評価のよいほうを目指す形になるので、それでいいかどうかも含めて議論する必要がある。

○子ども読書活動推進計画の策定や文書館整備のような事業は、予算化されなかったため未着手で「C」とする必要はないように思う。読書普及活動や資料整理業務はやっていると思う。

⇒子ども読書推進計画は計画策定をしていないのでCという認識である。活動実績はあるので、今後は学校・保育園・幼稚園等との連携強化により、既存予算のなかでやれることから始めたい。

また、文書館整備については、整備という言葉は政策的要素が大きいのもう少し適切な表現に変えたい。

○ユニバーサル資料の参考データは、資料数ではなく利用者数と利用数（貸出数）を用いてほしい。

○ネット検索による予約の比率が上がっていることは喜ばしいが、図書館内をゆっくり回って楽しむ利用者が減っているのは気がかりである。たとえば書庫に入って目的の本以外の掘り出し物を発見したり、現物に触れたりできることは大事なこと。レギュラーでなくてもよいので部分的に検討してほしい。

⇒書庫の公開に向け工夫したい。

○閉架書庫のように市民に知っていただかなければならないことは、これから増えていくと思う。

広報媒体が大きな課題となるので担当課と協議をし、広く周知してほしい。

⇒図書館を盛り上げる広報などいろいろなかたちで挑戦したい。その第一は、人との良好なネットワークづくりかと思う。

○国民読書年ということであるが、予算的なものはあるか。

⇒そのための特別な事業費はない。既決予算の中でやらざるを得ないが、アイデアで勝負したい。

お金をかけずに市民に訴えることができるものをやりたいと考えている。